



平成25年2月14日 於 広島YMCAコンベンションホール

# 「太田川生態工学」の取りまとめ結果を報告しました。 ～「太田川生態工学研究会 研究発表会」～

「太田川生態工学研究会」では、太田川放水路に計画されている緊急用河川敷道路による河口干潟の環境保全を検討するため、工学、生態学の多数の研究者が参加し、干潟環境の研究を行ってきました。今年、約8年間行ってきた研究成果が取りまとめられましたので、各専門分野からの調査研究報告に加え、「研究成果に関する総合的な考察」が紹介され、活発な意見交換が行われました。太田川河川事務所では、本研究会で得られた成果を多くの方々に活用していただくため、取りまとめた結果をHP等で公表する予定です。



研究発表会の様子(約90名の参加:盛況でした)

**アンケートより**

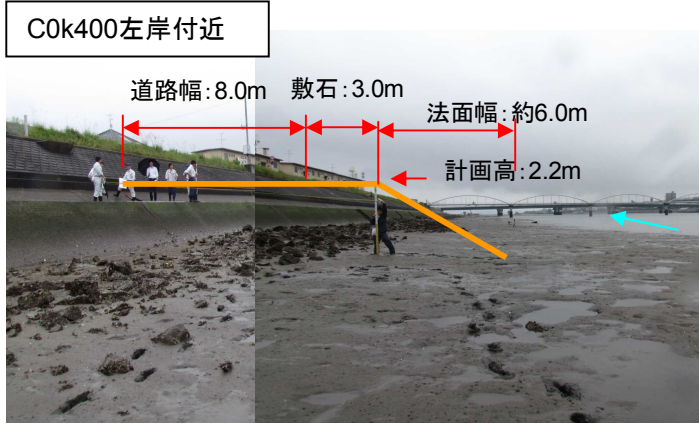
- ・日ごろよく見ている太田川の干潟について研究がされていて、さらに太田川に興味があわいた。
- ・人工的に造られた放水路でありながら、その自然の多様性の高さを再認識した。
- ・今後の課題は、各WGの成果を領域を越えてリンクさせ、どう考察するかにあると思う。
- ・とても興味深い内容であった。

.....

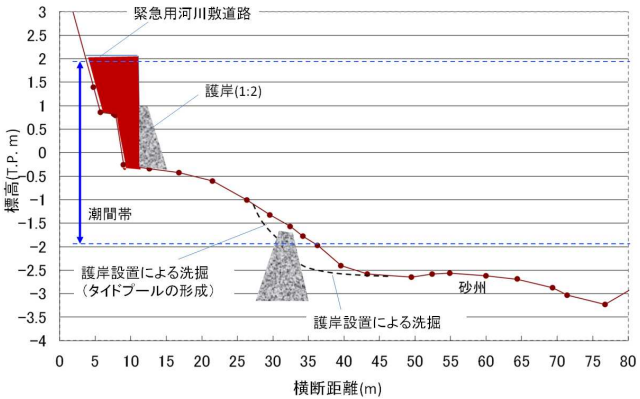
ご意見、ご感想をありがとうございました。  
また、ほぼ毎回参加している、というご意見もあり、皆さまの環境への意識の高さを感じました。

## 【河口干潟造成に向けた考え方】

太田川河川事務所では研究会の学術的知見を踏まえ、今後、「減少傾向にある下流の干潟について、対岸を含めて保全していくこと」を基本的な考え方として、具体的な検討を進めていく予定です。



緊急用河川敷道路整備イメージ(C0k400左岸付近)



干潟保全方法のイメージ図(C1k400断面)

聴講のため、会場に足を運んでくださった皆さま、どうもありがとうございました！！